

陶原小学校放課後学級

陶原小学校放課後児童クラブとの校内交流型

■校内交流型の概要

小学校1年生から6年生までを対象に、平日は学校授業日の下校時刻から午後5時30分まで、夏休み等長期休業中は午前9時30分から午後5時30分まで、子供たちの遊び場所の提供を行っています。隣の教室には児童クラブが併設しており、子供たち同士の交流ができるようにイベントなどを行っています。

■特徴的なこと・工夫していること

ボランティアの特技を生かして、プログラムを行っています。

大相撲名古屋場所に合わせて、力士の方との交流も行っています。

■校内交流型で実施するプログラム内容

室内：カード遊びや知育玩具など

屋外：学校遊具、ドッヂビー、縄跳びなど

■課題

ワンパターンになると、子供もつまらなくなってしまうため、ワンパターンにならないようにすること。また、幅広い学習や体験活動ができるよう、考えていきたい。

場所も図書室に限らず、場所を広げると活動内容も広がると思うので、視点を変えて考えていきたい。

■成果

地域の方の口コミでボランティアも20人以上登録しています。協働活動支援員が地域の方なので、中心となってボランティアの方と一緒に様々な工作や手芸、遊びや取組を考えて行っています。季節感を取り入れた行事やワークショップ、外部講師を招き、絵画教室やA B C教室など子供たちが興味・関心をもって楽しみながら参加実施しています。

■活動の様子



■開催状況

週5日

■参加人数

約10～15人/日

■主な活動場所

図書室・校庭

■指導員数

約3日/人

栄小学校 放課後子ども教室

栄小学校放課後児童クラブとの校内交流型

■校内交流型の概要

栄小学校は、児童クラブと放課後子ども教室のどちらも学校内にあり、児童クラブ利用児童も放課後子ども教室に参加可能です。児童クラブ利用児童は、児童クラブに荷物を置いてから放課後子ども教室に参加し、放課後子ども教室が終わったら、児童クラブに戻ります。

■特徴的なこと・工夫していること

校内交流型なので、参加児童が多いです。参加児童が多くなりそうな人気の講座の日は、スタッフを多めに配置し、学校の空き教室を借りて、実施教室を増やし、実施しています。

■校内交流型で実施するプログラム内容

フラダンス、風船バレー、季節の工作等

■課題

児童の出欠管理等を現在紙で行っており、利用児童が多いこともあり事務が煩雑になっています。保護者の利便性も考慮し、令和7年度から出欠管理システムを導入予定です。

■成果

地域ボランティアの方の協力のもと、様々なジャンルの講座を行っています。朝から放課後子ども教室を楽しみに登校してくる児童も多いです。また、放課後子ども教室の児童だけでなく、児童クラブ利用児童とも一緒に放課後の時間を過ごすことができ、多くの児童の楽しい放課後の居場所になっています。

■活動の様子



■開催状況

週5回

■参加人数

約40人/日

■主な活動場所

ハーモニールーム

■指導員数

約6人/日

大宮小学校 放課後子ども教室

学校内に新しく建てた専用教室で週5日開催

■概要

大宮小学校放課後子ども教室は、学校内で授業終了後の児童を受け入れ実施しています。工作、文化活動、伝承遊びなどをとおして、様々な体験を提供しています。

■特徴的なこと・工夫していること

体験を通じて興味の幅を広げられるよう、様々な遊びや季節感のある工作を行っています。また、参加した児童に「やってよかった」と感じてもらえるよう、様々な学年が楽しめることを意識したプログラム作りをしています。

■プログラム内容

ボタニティペインティング、体力測定、ハロウィンパーティー

■課題

企画の段階から現場職員が関わることで、より現場に適した活動をできるように取り組みたいと考えています。

■成果

異学年交流が生まれ、様々なコミュニケーションを学ぶ機会に恵まれています。また、同じ遊びでもルールを付け加えたり、道具を変えることで新たな発見があることを子供たちに伝え、創造性を養うきっかけづくりをしています。

■活動の様子



■開催状況

週5回

■参加人数

約10人/日

■主な活動場所

多目的教室

■指導員数

約3人/日

赤池小学校 放課後子ども教室

－赤池小学校児童クラブとの校内交流型－

■校内交流型の概要

日進市放課後子ども総合プランでは、放課後児童クラブと放課後子ども教室との校内交流型を基本とし、放課後子ども教室では、市内の小学校内において通学する全ての子供のうち利用申込みがあった子供を対象としています。

■特徴的なこと・工夫していること

夏季休業中も学校施設を利用して、安全で安心な居場所を確保しながら、様々な学習や体験・活動の機会を提供しています。

夏季休業中は滞在時間が長くなるため、おやつの時間を設定している他、多種多様なプログラム提供など、飽きのこないよう工夫しています。

■校内交流型で実施するプログラム内容

キッズヨガ（運動）、読み聞かせ（鑑賞）、近隣大学生との交流イベント（工作等）、ミニ音楽会（鑑賞）

■課題

夏季休業中は熱中症の心配があるため、子供たちが外で体を動かしたくても、室内で過ごす時間がが多くなるざるを得ないため、室内でも体を動かすことができるよう、小学校内の施設を活用する等の工夫をしています。

■成果

夏季休業中も朝から実施することで、子供たちも普段と同じような過ごし方ができています。

子供たちの居場所を不安視する保護者に対して安心感を与えることができています。

■活動の様子



■開催状況

週5日

■参加人数

各教室により異なります。

■主な活動場所

小学校内の専用室等

■指導員数

1日あたり約6人

東郷町放課後子ども教室

地域の人材を活用した多様な体験活動を実施

■概要

本町では、子供たちの放課後の居場所づくりを目的として、地域の方々の協力のもと、様々な体験活動や学習活動を提供する場として、「東郷町放課後子ども教室（通称 きらきらこども）」を実施しています。

■特徴的なこと・工夫していること

地域の方々の協力を得て、子供たちが楽しんで参加できるよう、様々な体験活動を実施しています。

1日20～30分程度、学習に取り組む時間として「学習タイム」を設けることで、学びの場を提供しています。

■プログラム内容

サッカー教室、和太鼓、折り紙教室、農業体験等

■課題

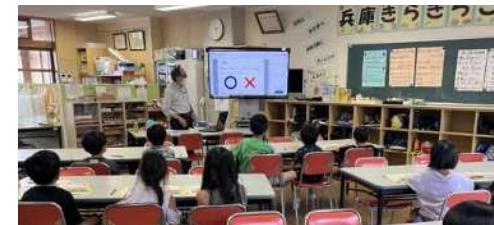
夏休み等の長期休業期間中における指導員の確保が困難です。

各学校の余裕教室等を利用して実施していますが、少人数学級制等により、余裕教室等がなくなってきたことから、実施場所の確保が今後の課題です。

■成果

高学年の子供が低学年の子供に遊び方を教えたり、指導員のサポートをしたりする等の様子が見られ、他学年との交流や子供たちの社会性を高めることができます。

■活動の様子



■開催状況

週5日（平日のみ）

■主な活動場所

各小学校の余裕教室等

■参加人数

約20人～60人/日

■指導員数

約4～6人/日

南小学校放課後子ども教室

-南小学校放課後児童クラブとの校内交流型-

■校内交流型の概要

放課後子ども教室「まなびクラス」は、市内の小学校に通う全ての子供が対象です。地域のボランティアの方々の御協力をいただきながら、委託事業者が提供するプログラムを活用し、放課後児童クラブ「せいかつクラス」との連携を定期的に行ってています。

■特徴的なこと・工夫していること

国際交流センタースタッフと定期的に連携を行い、3か月に1回校内交流型イベントとして提供しています。

■校内交流型で実施するプログラム内容

国際交流プログラム、アロマテラピー、紙芝居

■課題

座学中心のため、運動好きな子供が参加しやすい交流型のプログラムが必要になると想っています。

■成果

国際交流プログラムでは、地元の国際交流センターと協力して異国の文化交流を行うことができました。

英語を通じて「放課後児童クラブ」「放課後子ども教室」の枠を越えて子供たち同士関わることができました。

■活動の様子



■開催状況

3か月に1回

■参加人数

約65人/日

■主な活動場所

校内など

■指導員数

約4人／日

放課後なかよし教室

—子どもの家（放課後児童クラブ）との連携型—

■連携型の概要

保護者や地域の人と協力して、子供たちを健やかに育むため、各小学校の余裕教室などを利用した「放課後なかよし教室」を設置し、運営しています。

■特徴的なこと・工夫していること

市内36校で実施しています。

定員を設けていないため、誰でも自由に参加できます。

工作や本の読み聞かせなど、子供たちが楽しく参加できるように活動内容を工夫して実施しています。

■連携型で実施するプログラム内容

- ・縄跳びやサッカーなどの外遊び
- ・イベントの共催

■課題

- ・スタッフの安定的な人材確保
- ・スタッフが休暇を取得した際の応援体制の構築

■成果

他学年との交流や、工作、読書、ゲーム遊びなどを行うことで、多様な体験活動の場の提供ができます。また、参加人数に応じ、複数の部屋や体育館等での活動ができます。

学校に行きづらくなったものの、放課後なかよし教室に参加する児童もいます。

■活動の様子



■開催状況

週5回

■参加人数

平均25人/日

■主な活動場所

余裕教室、図書室、体育館など

■指導員数

約3人/教室

土曜チャレンジ・アップ教室

—地域と連携したプログラムの実施—

■概要

地域の多様な経験や技能をもつ人材・大学・企業等の協力により、子供たちにとってより豊かで有意義な土曜日の放課後子ども教室を実現する。

■特徴的なこと・工夫していること

参加者は費用負担なく、様々なプログラムを楽しむことができます。

大学生や法人の方の協力を得て多様な内容のプログラムを開催しています。

■プログラム内容

科学実験、英語講座、貯金箱工作 等

■課題

子供たちに有意義な土曜日の放課後子ども教室を提供できる担い手の確保

■成果

他学年との交流や多様な体験活動の場の提供ができます。

楽しんで学ぶことができるような内容を提供できます。

■活動の様子



■開催状況

1校あたり年2～6回

■参加人数

約15人／回

■主な活動場所

家庭科室、図工室 等

■指導員数

2～5人程度／回

北里小学校放課後子ども教室

北里小学校児童クラブとの校内交流型

■校内交流型の概要

小牧市放課後子ども総合プラン事業の実施校の一つとなっています。年に数回程度、児童クラブと連携して実施し、児童クラブ加入児童の中から希望者を受け入れて合同活動を行っています。

■特徴的なこと・工夫していること

合同活動の時は、放課後子ども教室と児童クラブの参加児童が、体育館などに集まり、活動を行っています。両方の従事者が協力して指導・支援にあたっています。また地域の方を講師として招き、多種多様な体験活動ができるように工夫しています。

■校内交流型で実施するプログラム内容

忍者ランド（運動）、音楽鑑賞、工作、読み聞かせ等

■課題

児童クラブの児童は、人数が多いため、内容によって全員参加となったり限られた人数の参加となったりするので、活動内容の工夫と参加児童の人数をバランスよく考えていく必要があります。講師の活用や活動内容を市内の小学校間で情報共有していますので、引き続き有効に活用して、合同活動の活性化につなげていきたいと考えます。

■成果

同じ小学校に通う子供たちが、合同活動で、普段とは違う友達と一緒に活動することにより、交流が深まり、お互いによい刺激となっています。普段の学校生活で体験できない活動を行うことは、子供たちの多様で豊かな経験につながっています。また、指導員も互いに異なる事業を理解するよい機会となっています。

■活動の様子



■開催状況

月 2 回程度

■参加人数

約30人/日

■主な活動場所

小学校教室など

■指導員数

約7人/日

師勝東小学校放課後子ども教室

—師勝東小学校児童クラブとの校内交流型—

■校内交流型の概要

北名古屋市では、市内の全10小学校(うち1校のみ連携型)の特別教室等を活用して実施しています。対象児童は3~6年生で児童クラブと併用でき、放課後子ども教室と児童クラブの連携に取り組んでいます。

■特徴的なこと・工夫していること

毎日必ず、タブレットやプリント等の宿題に取り組んでいます。また、講師の先生を招いた体験学習、スタッフの企画したレクリエーション等を実施し、児童に様々な体験活動の機会を提供しています。

■校内交流型で実施するプログラム内容

己書、運動教室、ALTによる英語、児童クラブと合同夏祭り

■課題

タブレットを有効活用するために、スタッフは児童のタブレット学習の進め方に注意して、指導していく必要があります。また、運動の機会を増やして体力を伸ばしたり、様々な体験活動を企画したり、児童が楽しく過ごせるよう努めていくことが課題です。

■成果

タブレットやプリントによる宿題を、毎日必ず取り組んでいるため、学習習慣が定着してきました。

体験活動に運動教室やダンス教室を取り入れ、児童が放課後子ども教室で、体を動かす機会が増えてきました。

■活動の様子



A I ドリル学習の様子



己書で自分の気持ちを表現

■開催状況

週5回

■参加人数

約20人/日

■主な活動場所

小学校特別教室等

■指導員数

約2~3人/日

西枇杷島放課後子ども教室

地域の人材や施設を活用して実施

■概要

小学校の施設・余裕教室を活用して、地域社会における児童の安全で安心な活動の拠点を設け、地域の方々の参画を得ながら、実情に応じて子供たちに遊びや自主的な学習、スポーツや文化活動、あるいは体験・交流活動等を行う場所及び機会を提供しています。

■特徴的なこと・工夫していること

読み聞かせや工作、レクリエーション活動などで、ボランティアの方々に協力していただいています。

市の勤労会館の多目的室を利用し、年6回、ゲーム大会を行っています。

■プログラム内容

1年生対面式・ゲーム大会・絵本及び紙芝居など

■課題

日により参加メンバーや参加人数が違い、グループ分けが難しいところがあります。

指導員・補助員の交代体制の中で、指導にあたっての共通理解に努めています。

■成果

コミュニケーション能力や他の子供と協力しようとする姿勢が身についています。

自己主張とともに他の子供を受け入れようとする姿勢が身についています。

■活動の様子



■開催状況

週5回

■参加人数

約30人/日

■主な活動場所

小学校の施設・余裕教室等

■指導員数

約3人/日

きらり☆きっずルーム

(志水小学校放課後子ども教室)

志水小学校放課後児童クラブなかよし会との校内交流型

■校内交流型の概要

「きらり☆きっずルーム」は、志水小学校に通う1年生から3年生の子供が対象です。志水放課後児童クラブ「なかよし会」と連携し、自主学習の場や、スポーツ・文化芸能といったプログラムを実施しています。

■特徴的なこと・工夫していること

地域のボランティアの方々、町職員の協力をいただき、様々なプログラムを実施しています。

■校内交流型で実施するプログラム内容

英語、あみもの、サッカーなど

■課題

- ・収容定員の増加（活動場所の増設）
- ・実施時間の延長
- ・対象学年の拡大
- ・新規プログラムの実施・講師の確保

■成果

- ・地域ボランティアの方々、町職員によるスポーツや文化芸能プログラムを実施することができている。
- ・放課後子ども教室と児童クラブの垣根を越えて、共通のプログラムに取り組めるので、子供たちはとても楽しく参加できている。

■活動の様子



■開催状況

週5回

■参加人数

約20人／日

■主な活動場所

志水なかよし会クラブ棟、運動場

■指導員数

約3人から5人／日

豊山町放課後子ども教室（豊山小・新栄小）

多様なプログラムによる活動

■概要

安全・安心な子供の活動拠点として、体験活動やスポーツ、地域住民との交流活動等を行っており、運営は一般社団法人に委託しています。町内2小学校の空き教室を活用して、1年生～3年生を対象に月曜日から金曜日（給食のある日）の週5回開催しています。

■特徴的なこと・工夫していること

- ・派遣講師による体験活動（お箏教室、英会話教室等）
- ・豊山町国際交流員協力によるレクリエーション
- ・宿題の習慣づけ

■プログラム内容

プリント、外遊び、自由工作、体験活動、レクリエーション等

■課題

- ・実施時間の延長
- ・対象学年の拡大
- ・放課後児童クラブとの一体化

■成果

- ・民間委託により、これまでになかったお箏教室や英会話教室、己書といったレクリエーションを活動に取り入れることができます。
- ・国際交流員協力によるレクリエーションにより異文化に対する理解が深まりました。

■活動の様子



■開催状況

週5回

■参加人数

約25人/日

■主な活動場所

余裕教室・運動場等

■指導員数

約3人～5人／日

草井小学校放課後子ども教室

—草井小学校学童保育所との連携型—

■連携型の概要

放課後子ども教室、学童保育所共に1・2年生を対象とし、基本的に全員参加として実施しています。

主に放課後子ども教室実施場所を利用して、1学期に1回程度、実施しています。

■特徴的なこと・工夫していること

事前に学童の職員との打合せや準備を行い、当日は活動の時間を多く取れるようにしています。

実施日は職員全員出勤（4人＋アドバイザー1人）として、参加児童が増えることによる安全面を通常以上に考慮しています。

■連携型で実施するプログラム内容

読み聞かせ、ミニゲーム、季節の工作など

■課題

対象者を1・2年生の2学年以外にも拡大することや、教室間でプログラム内容に大きな偏りがないようにするなど、職員の人材育成をすることが課題になっています。

■成果

放課後子ども教室と学童保育の垣根を越えて遊ぶことができ、児童も楽しく参加しています。

外部講師による環境教室や交通安全教室を実施した教室もあり、普段の活動では体験できない学びの機会を提供できています。

■活動の様子



■開催状況

週3回

■参加人数

約30人／日

■主な活動場所

校舎1階低学年図書館

■指導員数

約3人／日

岩倉市放課後子ども教室

岩倉北小学校放課後児童クラブとの校内交流型

■校内交流型の概要

放課後子ども教室は、原則毎週土曜日、市内の小学校5校で開催しており、対象は市内の小学校に通う全ての子供です。ただ、校内交流型として実施できているのは、児童クラブが学校敷地内にあり、土曜日に児童クラブが開催されている岩倉北小学校のみとなります。子供たちに対して運動面、文化面での活動の支援を子ども教室指導員と児童クラブ担当者が協力して行っています。

■特徴的なこと・工夫していること

体育館には、放課後子ども教室用の様々な運動用具を備え、子供たちのニーズにできるだけ応えられるように努めています。

図書室では、読書だけでなく、もの作りやカードゲームなどもできるようにしています。学校によっては指導員が絵本の読み聞かせもしています。

■校内交流型で実施するプログラム内容

図書室でのもの作り（裁縫、工作など）

体育館でのドッジボール、バドミントンなどの遊び

■課題

ベテランの指導員がほとんどで、熱心に子供たちと関わっていますが、若い指導員にももう少し加わってほしいと考えています。

■成果

指導員である地域の大人と子供たちとの交流をとおして、絆がより深まっているのを感じます。

大人とともに汗を流したり、ものを作ったりすることは、子供たちにとって貴重な経験であり、楽しそうに活動する姿を見ることができます。

■活動の様子



■開催状況

週1回

■参加人数

約47人/日

■主な活動場所

小学校体育館・図書室

■指導員数

約4人/日

放課後子ども広場

—放課後児童クラブとの校内交流型—

■校内交流型の概要

放課後子ども広場は、町内の小学校1年生・2年生の児童が対象です。保護者の就労に関係なく、下校時から保護者のお迎えまでの間（夕方5時まで）、本人と保護者がともに参加できる子供の居場所づくりを目的とした活動をしています。

■特徴的なこと・工夫していること

- ・曜日登録制の導入により、希望者全員参加可能です。
- ・希望すれば保護者も一緒に参加可能です。
- ・地域ボランティアの支援を積極的に活用しています。
- ・扶桑町文化祭作品展に「広場作品」として全員出品します。

■校内交流型で実施するプログラム内容

マジックショーなど

■課題

コロナ禍における規制を緩和したことで、子ども広場の活動内容が個別の遊びから、友達と関わっての遊びになった。コミュニケーションがうまくとれない時に友達とトラブルになることがある。また従来のように集団遊びを楽しめる環境になることが課題である。

■成果

学校や地域の温かい支援を受けて、のびのびと活動することができます。また、ボランティアの支援により、日頃の授業では体験できないことを体験することができます。

1年生から2年生に進級する時、多くの子供たちが継続を望んでいます。

■活動の様子



■開催状況

平日 5 日

■参加人数

4施設合計で平均145人/日

■主な活動場所

普通教室、公民館など

■指導員数

4施設合計で平均15人/日

津島市放課後子ども教室

－多様な体験の機会を得られるプログラムを実施－

■概要

本市では、子供たちの安心・安全な活動の場を確保するとともに、様々な体験・交流・学習の機会を得られるよう「放課後子ども教室」を実施しています。学年を超えた交流や、季節の工作、イベントやプログラム等を行っています。

■特徴的なこと・工夫していること

地域住民の参画を得て、子供たちが様々な体験、多くの人の交流をとおして学びを得られるような体験を実施しています。地元企業と連携してイベントを行ったり、プログラムを実施したりしています。

■プログラム内容

工作、毛織物学習プログラム、プログラミング学習キットなど

■課題

地域住民のボランティアによって支えられている事業ですので、いかに携わってくださる方を確保するか、そうした方々のスキルアップを図っていくかが課題です。

■成果

高学年の子供が低学年の子供に遊びを教える様子が見られるなど、異学年の交流ができます。

地域のボランティアが積極的に携わり、子供たちの成長を見守っています。

■活動の様子

《プログラミング学習》



《モルックボウリング体験》



《季節の工作》



■開催状況

週 3～4 回

■参加人数

約15～60人/日

■主な活動場所

小学校の余裕教室等

■指導員数

3～6人/日

正則小学校放課後子ども教室

生け花をやってみよう

■概要

地域の大人たちがボランティアスタッフとして参画し、学習活動、文化活動及びスポーツ等を行うことで、地域社会の中で心豊かに育まれる環境づくりに努めています。

■特徴的なこと・工夫していること

ボランティアスタッフが企画したプログラムのほか、外部講師を招いての防犯教室など、様々なプログラムを行っています。今年度は市で活動されている文化協会の方を講師に招き、身近な材料で体験活動をしています。

■プログラム内容

季節の工作、体験活動、体を動かす遊びやスポーツ等

■課題

ボランティアスタッフの慢性的な不足や高齢化が顕著であり、新たなスタッフの確保・育成や応援体制の充実が喫緊の課題となっています。

■成果

学校内で実施しているため、子供たちの安全・安心の確保につながっています。

文化協会等地域で活動する大人を外部講師に招くことにより、新たな異世代交流、多様な経験に貢献しています。

■活動の様子



■開催状況

年13回

■参加人数

約15人／日

■主な活動場所

小学校体育館

■指導員数

約4人／日

大治町放課後子ども教室

- 子供たちにとって居心地の良い場所づくりを目指して -

■概要

放課後子ども教室「のびのび子ども広場」は、町内3小学校に通う全ての子供を対象として大治町立公民館にて実施しております。月1回程度開催しています。

■特徴的なこと・工夫していること

地域の方々や中学生ボランティアに協力していただき、より小学生と近い距離で接することで子供たちにとって居心地の良い場所づくりを目指しています。

また、工作や太鼓体験教室などをとおして、貴重な経験に触れる場の提供を心掛けています。

■プログラム内容

理科実験、太鼓体験教室、昔遊び 等

■課題

参加児童が多くなり、支援ボランティアの御協力を得ているが、限られた指導員数の中で、常に全参加児童を視界に入れることができず、結果として不意の怪我などにつながる恐れがあることが課題です。

■成果

他校や異学年の児童と交流することにより、社会性や協調性が養われています。

放課後子ども教室に参加している児童が、教室で得た経験をきっかけに、他の事業に積極的に参加しています。

また、地域の方々だけでなく、中学生ボランティアも様々な事業において参加しています。

■活動の様子



■開催状況

月1回程度

■参加人数

約45人

■主な活動場所

大治町立公民館

■指導員数

約6人

半田市 放課後子ども教室

－多様なプログラムによる活動－

■概要

半田市では、週2回放課後子ども教室を開催しています。地域ボランティアの協力のもと、子供たちが友達や地域の方々と触れ合いながら、工作や外遊びなど好きな遊びをして過ごす放課後の居場所を提供しています。

■特徴的なこと・工夫していること

イベントや作品展への出展等のため全員で同じものを作ることがありますが、活動への参加を強制することではなく、子供の自主性を尊重し、やりたいことを自由に行っています。

年3回講師を招き、人形劇、ハンドベル、手品等普段体験できないようなプログラムを実施しています。

■プログラム内容

宿題、ドッジボール、サッカー、工作、伝承遊び、ボードゲーム、カードゲーム、紙芝居、バルーンアート等

■課題

コーディネーター、スタッフが不足しています。現在のスタッフが高齢化していく中で、いかに世代交代していくかが課題です。

■成果

大人との関わりの少ない児童に対し、地域の方々が優しく子供たちと接してくれるため、最初は消極的だった子供たちが、自分のやりたいことを主張するなど積極的な姿が見られるようになってきました。

対応が難しい児童と交流することで、周りの児童が成長する姿が見られました。

■活動の様子



■開催状況

平日週2回、15時から16時頃

■参加人数

15～20人/日

■主な活動場所

教室・図書室・体育館・運動場等

■指導員数

6～7人/日

明倫小学校 子ども教室

– 明倫小学校放課後児童クラブとの校内交流型 –

■校内交流型の概要

子ども教室は、市内の小学校に通う全ての子供が対象です。地域のボランティアの方々の御協力をいただきながら、児童クラブと連携し、スポーツ・文化活動、工作などの取組を、週2～3回程度実施しています。

子ども教室と児童クラブを同じ小学校内で実施しており、活動場所は特別教室や体育館です。

■特徴的なこと・工夫していること

子ども教室への参加は登録制ではなく、毎月募集するため、様々な児童が子ども教室へ参加できます。

コーディネーターや指導員は、児童クラブと隨時情報共有を行い、子ども教室に参加した児童クラブ利用の児童は子ども教室指導員が児童クラブ室まで付き添う等、連携を図っています。

■校内交流型で実施するプログラム内容

ストリートダンス、トールペイント等

■課題

- ・指導員の確保
- ・ボランティア講師（協働活動支援員）の高齢化
- ・実施場所の確保
- ・学校との連携

■成果

児童クラブ、子ども教室を同じ小学校内で実施することで子供たちの安全安心な居場所を確保できます。

児童クラブを利用する児童と利用しない児童が放課後に交流できる場となり、また、全児童に体験機会を提供できます。

■活動の様子



■開催状況

週2～3回

■参加人数

約20人／回

■主な活動場所

小学校の特別教室

■指導員数

3～6人／日

佐布里小学校 放課後子ども教室

—佐布里小学校放課後児童クラブとの校内交流型—

■校内交流型の概要

放課後子ども教室は市内小学校に通う全ての子供が対象です。放課後児童クラブの子供は、登録料が無料で参加できます。また地域の企業やボランティアの方々の協力をいただきながら、和太鼓や工作、昔遊びなど多様な活動をしています。

■特徴的なこと・工夫していること

放課後子ども教室と放課後児童クラブの指導員が連携し、情報交換を行っています。また、地域の方々にサポートスタッフとして講師をお願いしています。

■校内交流型で実施するプログラム内容

切り絵、パステル画、連鶴、絵手紙、読み聞かせ、和太鼓

■課題

地域のボランティアの方々によって支えられている事業ですが、高齢化などによりサポートスタッフが減少しており、新たな人材の確保が課題です。

学校の教室利用の多様化により、子ども教室を開催できる場所の確保が難しくなっています。また、子ども教室参加者が多い講座は、児童クラブ利用児童の制限が必要になっています。

■成果

地域の方に講師として来てもらうことで、地域とのつながりを深めることができます。

小学校内の教室などをを利用して実施しているため、放課後の安全・安心な居場所となっています。

■活動の様子



■開催状況

週5日

■参加人数

約17人／日

■主な活動場所

余裕教室、体育館

■指導員数

約2人／日

東浦町アフタースクール

－ 学習活動を含むプログラム －

■ 概要

町内小学校ごとに、4～6年生を対象に週2日、授業後から18:00まで実施しています。学校の宿題や学習に個別に取り組んだ後、様々な室内遊びや運動に取り組んでいます。各種講座や行事を計画的に実施しています。

■ 特徴的なこと・工夫していること

基本的に、登録児童のうち当日参加する児童を対象に受け入れており、事前に出欠の有無は集約していません。

様々な室内ゲームやスポーツ備品の充実に努め、参加児童が楽しく活動できるように心掛けています。

■ プログラム内容

学習活動、室内遊び、体育館・運動場での運動、各種講座等

■ 課題

学校内の教室を借りて実施していますが、教職員の働き方改革が進み、教職員の勤務時間終了時刻以降の教室管理について、早急に対応を検討する必要が出てきています。

児童数40名を中途に指導員を配置していますが、実施校によって登録児童数や参加児童数に大きな差があります。参加児童数が多い学校での指導員の負担が大きくなっています。

■ 成果

学習活動に落ち着いて取り組むことができており、学習後に室内で楽しく遊んだり、体育館や運動場で元気に遊んだりする姿が見られ、よりよい集団作りができます。

各種講座を開設し、様々な分野での体験を提供しています。
(月1回程度 科学、ニュースポーツ、手芸、作品応募等)

■ 活動の様子



■ 開催状況

各校週2日(月・火4校、木・金3校)

■ 参加人数

1校あたり 16.0人/日

■ 主な活動場所

各校余裕教室、運動場、体育館

■ 指導員数

1校あたり 2.6人/日

棚尾小学校放課後子ども教室

－多様なプログラム－

■概要

1年生から3年生を対象に、小学校の空き教室を利用して週3日開催しています。指導者も元教師を中心に地域の方の参画を得て、子供たちと共に勉強やスポーツ、文化活動の推進をしています。

■特徴的なこと・工夫していること

子供の自主性を尊重し、そのニーズに合わせて指導員が付きながら見守りと学習の指導を行っています。

参加希望が多い場合は、保護者と相談して参加人数が均等になるように調整しています。

■プログラム内容

勉強および宿題、スポーツ、文化活動など

■課題

勤務時間が短時間で夕方前の忙しい時間帯のため、コーディネーター・指導員の確保に苦慮しています。

下校後も児童が学校に残るため、教職員に負担がかかります。

各学校の空き教室の状況や学校の理解、コーディネーター・指導員の確保、安全の確保などにより、新たな事業展開が難しい状況です。

■成果

平成19年度から実施しており、これまでに多くの児童が参加しています。

保護者に本事業が認知されており、利用率が高く感謝の言葉をいただいている。

近年では参加児童であった方や教員を目指す学生が指導員として活動することが増えてきました。

■活動の様子



■開催状況

週3回（水・木・金）
放課後2時間程度

■主な活動場所

棚尾小学校の空き教室

■参加人数

約30名／日

■指導員数

約5人／日

刈谷市放課後子ども教室（市内全15校）

—放課後児童クラブとの校内交流型—

■校内交流型の概要

月1回程度開催する体験教室の一部に、児童クラブの児童も参加可能としています。

■特徴的なこと・工夫していること

体験教室ではスポーツ・文化活動、地域住民との交流活動などを行っています。

参加は回ごとの申込制となっています。

■校内交流型で実施するプログラム内容

缶バッジ作り、ニューススポーツ、ダンス教室など

■課題

現在は子ども教室側で体験内容や講師の手配を行っていますが、児童クラブのスタッフも企画の段階から加わることで、合同の体験活動の活性化につなげていきたいです。

■成果

児童クラブの児童とともに活動できることで子供たちが活気づくだけでなく、スタッフ同士の交流によりスタッフの研鑽につながります。

普段の学校生活で体験できない活動が子供たちの多様な経験に貢献しています。

■活動の様子



■開催状況

週2回

■参加人数

約21人/日

■主な活動場所

少人数教室、体育館等

■指導員数

約5人/日

寺子屋にしお（市内13箇所）

—学校近くの公共施設や地域の寺などで開設—

■概要

小学1年生から3年生までのサードプレイスとして週2日、市内12箇所で、放課後の安心・安全な居場所を提供するとともに、学習やふれあい活動をとおして、子供たちの交流を深めています。また、寺子屋学習会（市内1箇所）は1年生から6年生までを対象に地域の大学生が指導者となり、夏休みに開催しています。

■特徴的なこと・工夫していること

外部講師を寺子屋1箇所につき年2回招き、お茶会、音楽会、手品などを体験しています

指導員対象の研修会や情報交換会を行っています。

■プログラム内容

宿題、工作、読み聞かせ、ドッジボール、鬼ごっこ等ゲーム

■課題

指導員の高齢化が進み、活動内容が同じようなものになっています。

特別な配慮が必要な子供の対応について指導員のスキルを一層向上させる必要があります。

■成果

利用者アンケート（保護者対象）から、学校から帰ると宿題をする習慣が身についた。他学年との交流があり、年上の人にはいさつができるようになった。などの意見があり、学習の習慣、コミュニケーション能力は身についてきています。

■活動の様子



■開催状況

各寺子屋は週2日 学習会は年7日

■参加人数

1寺子屋あたり平均11人/日

■主な活動場所

公共施設、寺など

■指導員数

1寺子屋あたり3人/日

八ツ田小学校放課後子ども教室

—子どもたちがのびのびと活動する教室—

■概要

知立市立八ツ田小学校の1階教室で活動を行っています。放課後子ども教室は、放課後の子どもたちの安全で安心な居場所づくりを地域の方々の協力を得て、知立市が小学校施設を活用して運営する事業です。

■特徴的なこと・工夫していること

- 各自で宿題や自主学習を進めています。宿題をした後、自由時間（遊び・読書など）を行います。
- 一輪車や縄跳び、ボール遊びなど、外遊びを中心に活動しています。
- 運動場掃除を指導員と子供で協力して行います。

■プログラム内容

空き箱などを利用したリサイクル工作を行います。

■課題

小学校に隣接する児童クラブとは、市の放課後子どもの居場所会議により情報を共有していますが、物の管理等の難しさから合同プログラムは実施できません。

欠席連絡やお迎え時間の順守等について、保護者の方により協力が得られるよう努めています。

■成果

外遊びでは、ボール投げの力や、バランス感覚が育っています。異学年との遊びの中では、コミュニケーション力も高まっています。

指導員は、複数人でグループを作り、けが等に備えながら目を離さないように見守る体制ができているので、事故等は発生していません。

■活動の様子



■開催状況

週5日

■参加人数

約35人／日

■主な活動場所

知立市立八ツ田小学校 1階

■指導員数

約6人／日

放課後こども教室（わくわくたいけんルーム）

– 地域住民と一緒に様々なプログラムを実施 –

■ 概要

令和6年度から市内全小学校で放課後こども教室を実施しています。

地域の方々の参画を得て、英語教室からバスケットボールまで、幅広いジャンルの体験を子供たちに提供しています。

■ 特徴的なこと・工夫していること

バスケットボールとサッカーの2種目で、それぞれ2～3か月の間毎週講師を招いて行うスポーツプログラムを実施しました。

■ プログラム内容

工作、クイズ大会、お琴体験、ドッジボール、カローリング等

■ 課題

1年生から6年生が一緒に活動するため、参加者全員が楽しめるプログラムを実施するには、それぞれの学年のレベルに合った内容を提供する必要があり、当日の参加者の学年や活動の様子を見て工夫が求められます。

■ 成果

地域住民の協力を得て、幅広いジャンルのプログラムを実施することができました。また、地域住民が講師を務めることで、普段なかなか関わることのない人との交流ができました。

学校内の空き教室を利用して実施しており、子供たちにとって安心安全な居場所となっています。

■ 活動の様子



■ 開催状況

週2～5日

■ 参加人数

約21人／日

■ 主な活動場所

特別教室、運動場、体育館等

■ 指導員数

約3～4人／日

豊川市 放課後子ども教室

－全26小学校区で地域の方々が講師となり実施－

■概要

放課後や週末等に学校の余裕教室、生涯学習センター、市民館などを活用して、子供たちの安全・安心な活動拠点（居場所）を設け、地域の方々の参画を得ながら、スポーツや文化活動などの取組を各教室年間10回程度実施しています。

■特徴的なこと・工夫していること

市内全26小学校区で、校区毎に地域の方々が講師となり、子供たちに様々な体験・交流活動などを提供しています。教室で制作した書道やアート作品は、生涯学習成果発表会（年2回）や各生涯学習センターでの展示を行ったり、生涯学習センター文化祭で茶道のお点前などを披露したりしています。

■プログラム内容

サッカー、テニス、剣道、書道、生け花、茶道、将棋など

■課題

- ・年々教室数が減少していることから、新規教室の開設や新規講師の募集に努めています。
- ・放課後児童クラブとの連携を図ります。

■成果

他学年の子と一緒に活動することで普段の学校生活とは違うつながりが生まれ、交流の輪が広がります。

地元の子供たちに地域の方々が講師となって教えることで、地域のコミュニティ形成に貢献しています。

■活動の様子



■開催状況

各教室年10回程度

■参加人数

約44人／日

■主な活動場所

生涯学習センター、小学校など

■指導員数

約13人／日

塩津小学校放課後子ども教室

– 塩津小学校放課後児童クラブとの連携型 –

■連携型の概要

プログラムの内容によって、小学校の校庭や体育館と公民館を効率よく使って教室を実施しています。児童クラブ登録者も参加可能で、教室終了後、クラブへ復帰を希望する児童は、スタッフが送り届けています。

■特徴的なこと・工夫していること

参加希望者が多い場合でも、開催日を増やすことで子供たちを受け入れています。

事業を公民館が共催してくれるとともに、運営面でも全面的に協力していただいている。

■連携型で実施するプログラム内容

グランドゴルフ、茶道、吹き矢、工作、モルック、琴など

■課題

市内他地区の取組を参考にしたり、公民館のもつ人材を利用したりして、新しいプログラムを計画していますが、新しくし続ける難しさもあります。

参加希望者が非常に多くなることが多くあり、運営が難しくなることもあります。

■成果

楽しかった、おもしろかったという声が多く、毎年、参加する児童の数が増えてきています。同時に、保護者からの問合せも増え関心が高くなっています。

昨年に比べてサポーターは倍増しました。参加児童数の増加とともに事業の定着化を感じられました。

■活動の様子



■開催状況

年 8 回（概ね月 1 回）

■参加人数

約34人／日

■主な活動場所

塩津小学校・塩津公民館

■指導員数

約12人／日